

1 教育委員会関係について

(1) ICT教育

新学習指導要領の実施に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るため、教員のICT活用指導力の向上（研修会）及びサポート体制の整備について、取り組みの進捗状況と評価、課題・問題点は。

(2) 歴史文書館

① 平成31年度以降に初めて電子公文書が歴史文書館に移管される。平成29年度から協議しているが課題が多く進んでいない。早急に総務課が主導で歴史文書館と情報政策課の三者がスピード感をもって協議したらどうか。また、総合内部システムは“クラウド方式”への移行も検討されていると聞く。電子公文書の管理・移管の考え方と対応、今後の方向性は。

② 磐田の教育“歴史遺産の整備・充実”には、「市町村史の編さん事業で収集調査した地域史料を引き継いで保存公開する他、地域に保存されている地域史料の発掘に努め、史料調査・保存・公開を行う」とある。そこで、地域史料の発掘、受け入れの現状と収蔵の状況、課題・問題点は。

③ “地域の学習資源を活かした教育活動の推進”には、歴史教室、施設見学などの学校教育への支援がある。毎年、磐田の教育には「文化財課・埋蔵文化財センター、旧見付学校等の施設と総入場者数や実施内容等が掲載され総合的な学習支援を行っている」とある。この中へ歴史文書館を加えたらどうか。公文書、地域史料、企画展などから磐田市の歴史を学ぶには恰好の施設だと思っが見解は。併せて、来館は小中学校と連携し、各学府のしっぺいバスを活用したらどうかと思っが見解は。

2 磐田市の諸課題について

(1) 遠州大橋の無料化と150号バイパス

- ① 遠州大橋は平成31年度に償還期間が終了すると聞いているが、無料化の実施時期はいつ頃なのか。
- ② 遠州大橋の無料化と延伸している150号バイパスは、東日本大震災以降、地価の下落など停滞化している市南部地域の活性化に大きなインパクトを与えると思われる。市南部地域の工業を中心とした産業振興、エコパークや竜洋海洋公園などの観光振興、沿道商店などへの影響は。

(2) 暮らしのガイドブック

- ① 平成27年2月議会の一般質問で、暮らしのガイドブックは、「市内企業の協力により広告料収入で作成したが、毎年変わる国の制度や組織変更により、大幅に変更点が出てきている。今後は、改訂版の発行は行わず、年に一度、“広報いわた”に各課の問い合わせ先を掲載し、市民の皆さんにお知らせしていきたい」とあった。しかし、“広報いわた”では、課名等は分かるが、市民には、どのような情報が掲載され、日常生活に欠かせない情報がどの担当課で扱っているのか分からない。改めて、改訂版の発行についての考え方、今後の方向性、課題・問題点は。
- ② 市では、現在、ホームページのリニューアルを計画実施中であるが、リニューアル後に、ホームページへ暮らしのガイドブックの「電子ブック版」を掲載したらと思うが見解は。